

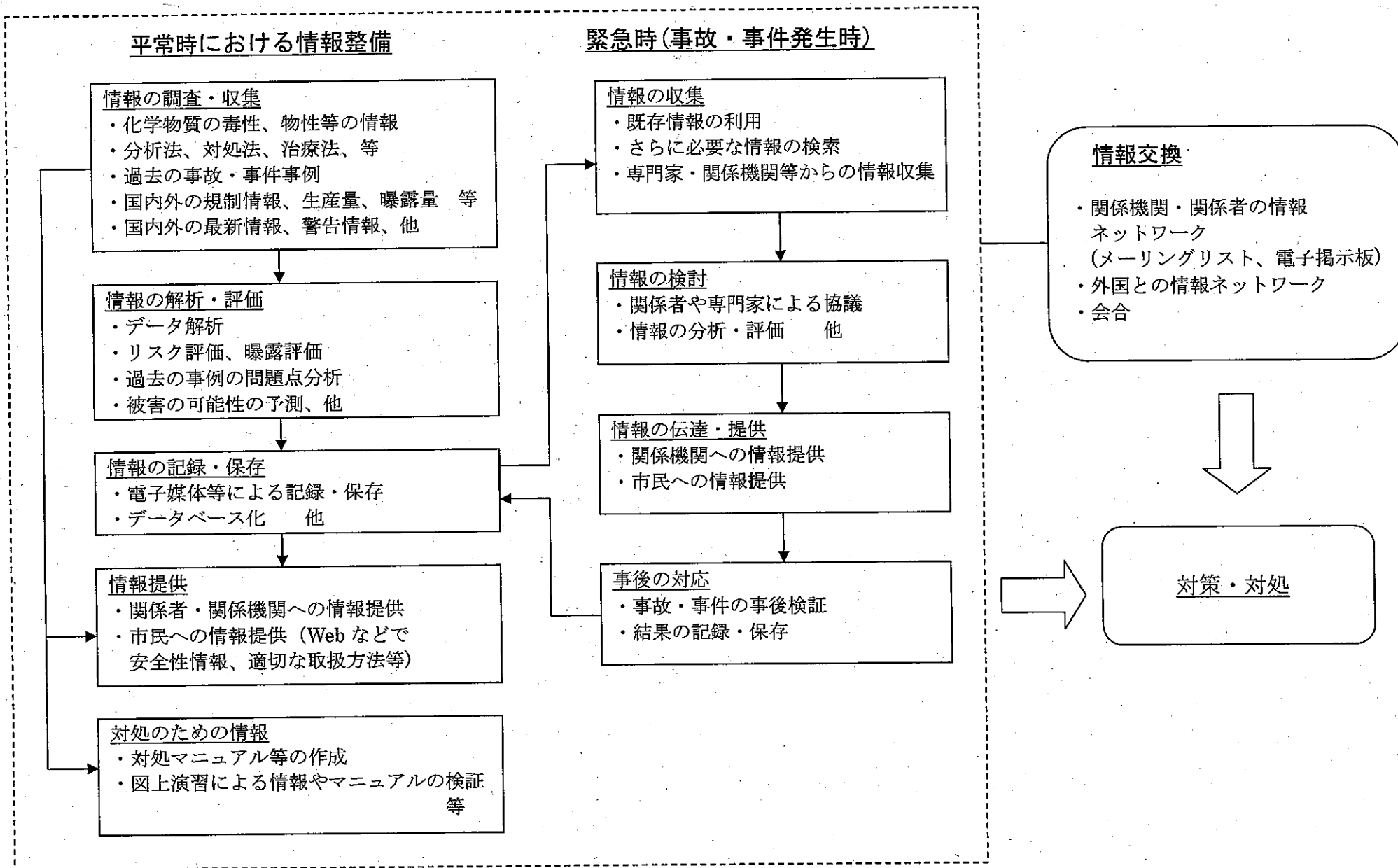
健康危機管理における各機関 との連携及び情報の共有

国立医薬品食品衛生研究所
安全情報部
山本 都

健康危機管理関連情報

- ◆ 被害予防のための情報
- ◆ 緊急時対応のための情報
 - ・（緊急時を想定して）平素から準備しておくべき情報
 - ・ 緊急時に状況に応じて必要となる情報

図1 化学物質に関する健康危機管理情報の流れ



健康危機管理分野において 特に重要な点

- ◆ 情報の伝達・交換
- ◆ 事故・事件の事後検証
- ◆ 情報の記録・保存

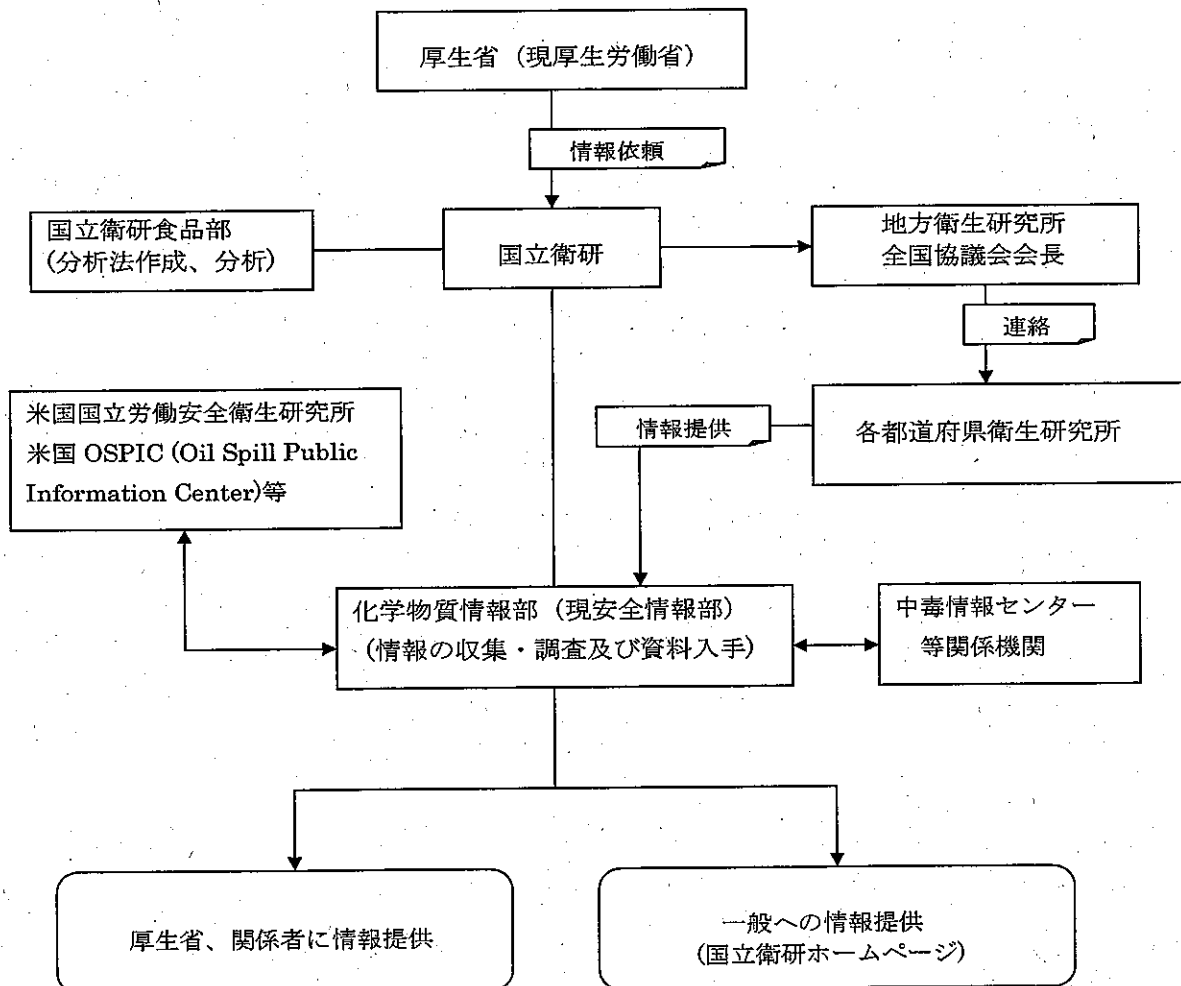
情報の伝達・交換に関する問題点 (平時、緊急時共に)

- ◆ 必要な情報の所在・入手方法がわからない。
- ◆ 有用な情報はあるのに
その存在が知られていない
活用できる形になっていない
- ◆ 有用な情報を持っていても
どこに連絡すればいいかわからない。
- ◆ 行政の縦割り、機関や分野間の壁
- ◆ 情報のフィードバック、フォローが不十分。
両方向の情報交換が重要

健康危機管理に関する主な対応

- ◆ 事故・事件発生時における情報提供
 松本サリン事件、日本海重油流出事故、
 和歌山毒物カレー事件 他
- ◆ 健康危機管理に関する研究
 - ・ 毒劇物中毒事件に関する研究
 - ・ 化学物質による緊急危害対応のための
 情報に関する研究
- ◆ その他
 - ・ 行政の関連施策支援、専門家ネットワーク等

図2 日本海重油流出事故（ナホトカ号）時の対応例



各機関との連携及び情報の共有に
→ インターネットは有用な手段

◆ 必要な情報の所在がわからない



ホームページ(ポータルサイト、Webガイド等)

◆ 有用な情報が必要なところに届かない
機関や分野を超えた情報交換がしにくい



メーリングリスト(ML)、掲示板などの活用

情報交換ネットワークの有用性

(手段: ML、掲示板など)

- ◆ 情報の伝達・交換の手段として有用(簡便、迅速)
 - ◆ 情報を共有しやすい
 - ◆ 問題提起をしやすく、それに対する意見や情報を得やすい(双方向の情報交換)
 - ◆ 機関や分野の枠を超えた情報交換しやすい
 - ◆ 緊急時に円滑に情報交換ができる人間関係を築きやすい
- MLや掲示板の場合、運用にあたっては目的や意義を明確にし一定のルールを守ることが重要

情報交換ネットワークの有用性

◆ 人と人のネットワークの重要性 (ヒューマンネットワーク)

■ 普段からの人間関係



いざという時にコンタクトしやすい

■ 一度でも Face to face の機会があると効果的